

ほけんふくし かん しみんいしき ちようさ  
保健福祉に関する市民意識アンケート調査(案)

ひ ごろから、さっぽろし しよう ふくしぎようせい すいしん りかい きようりよく  
日ごろから、札幌市の障がい福祉行政の推進に、ご理解・ご協力をいただき、  
あつ れい もう あ  
厚くお礼を申し上げます。

このたび、さっぽろし では、「さっぽろ しょうがい しゃ プラン2018」の改定や、今後の障がい福祉施策の推進のための参考資料とするため、市民の皆様の、障がいのある方とかかわりや障がい福祉施策に対する考え方などをお聞きする調査を行うことといたしました。

とつぜん ねが きようしゆく しゆし りかい かいとう  
突然のお願いで恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

こんかい ちようさ さっぽろし ない じゅうみんとうろく まん さいいじよう かた  
なお、今回の調査は、札幌市内に住民登録をしている満18歳以上の方からくじ  
び ほうほう むさく い ちゆうしゆつ ゆうそう  
引きのような方法で無作為に抽出して、郵送させていただいたものです。

かいとう ないようとう じようき もくてきがい しょう  
回答いただいた内容等につきましては、上記の目的以外には使用いたしません。

かいとう  
ご回答にあたって

- ① ねんれいとう きさい きじゆんび れいわがねん がつ にちげんざい じようきよう きにゆう  
年齢等を記載する基準日については、令和元年9月1日現在の状況で記入してください。
- ② きにゆう どうふう へんしんようふうとう い きって は  
記入していただいたアンケートは、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らず  
むきめい れいわがねん がつ にち とうかん  
に無記名のまま、令和元年●月●日(●)までに、投函してください。

ふめい てん と あ  
ご不明な点やお問い合わせは

かぶしきがいしゃ ほっかいどうにじゅういちせいきそうごうけんきゅうじょ  
株式会社 北海道二十一世紀総合研究所

Tel.011-231-3053/Fax011-231-3143

さっぽろし いたくぎようむ  
(札幌市委託業務)

## 1 あなたのことについて

問1 あなたの性別に○をつけてください。

- |     |       |
|-----|-------|
| 1 男 | 3 その他 |
| 2 女 |       |

問2 あなたの年齢について、あてはまるものに○をつけてください。

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1 18歳～19歳 | 5 50歳～59歳 |
| 2 20歳～29歳 | 6 60歳～69歳 |
| 3 30歳～39歳 | 7 70歳～79歳 |
| 4 40歳～49歳 | 8 80歳以上   |

## 2 障がいのある人とのかかわりについて

問3 あなたの身近に障がいのある人はいますか、または、これまでいたことがありますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- |                      |
|----------------------|
| 1 いる (いた) 【→問4へ】     |
| 2 いない (いなかった) 【→問5へ】 |

<<問3で「1」と回答した方にお聞きします。>>

問4 あなたの身近にいる (いた) 障がいのある人は、どのようなところにいますか (いましたか)。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                     |           |
|---------------------|-----------|
| 1 自分自身または家族などの身近な親族 | 5 隣近所     |
| 2 学校                | 6 趣味等の活動  |
| 3 自分の職場             | 7 その他 ( ) |
| 4 仕事関係 (自分の職場以外)    |           |

問5 あなたはこれまで、実際に障がいのある人と気軽に話したり、障がいのある人の手助けをしたりしたことがありますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1 ある 【→問6-1へ】 | 2 ない 【→問7-1へ】 |
|---------------|---------------|

《問5で「1」と回答した方にお聞きします。》

問6-1 それは、どのような気持ちからでしょうか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |   |                               |
|---|-------------------------------|
| 1 | 身内などに障がいのある人がいて、その大変さを知っているから |
| 2 | 近所付き合いや親戚付き合いなどで              |
| 3 | 困っているときはお互い様という気持ちから          |
| 4 | 自分の仕事に関連して                    |
| 5 | 将来、自分も事故や病気などで障がいをもつかもしいから    |
| 6 | 何となく                          |
| 7 | その他 ( )                       |

問6-2 それは、どのような話や手助けでしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |   |                |    |            |
|---|----------------|----|------------|
| 1 | 席をゆずった         | 7  | 一緒に遊んだ     |
| 2 | 横断歩道や階段で手助けをした | 8  | 相談相手、話し相手  |
| 3 | 車いすを押した        | 9  | 寄附等の金銭的な援助 |
| 4 | 家事や買い物などの手伝い   | 10 | 募金活動       |
| 5 | 入浴や着替えなどの手伝い   | 11 | その他 ( )    |
| 6 | 手話、点訳、音読、筆談など  |    |            |

《→問8へ進んでください。》

《問5で「2」と回答した方にお聞きします。》

問7-1 それは、どうしてですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |   |                    |
|---|--------------------|
| 1 | 手助けの方法がよくわからなかったから |
| 2 | 手助けをしようとしたら断られたから  |
| 3 | 関心がないから            |
| 4 | そのような機会がなかったから     |
| 5 | その他 ( )            |

問7-2 あなたは、困っている障がいのある人と出会った時に、どうしますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- |   |                     |
|---|---------------------|
| 1 | 積極的に声をかけて、必要なことを手伝う |
| 2 | 声をかけられたら手伝う         |
| 3 | 他の人が何か手伝えれば自分も手伝う   |
| 4 | 手伝いたい気持ちはあるが勇気がだせない |

- 5 責任が持てないので関わらないようにする
- 6 相手の態度による
- 7 声をかけられないように逃げてしまう
- 8 その時になってみないと分からない

問7-3 あなたは今後、自分のできる範囲で、障がいのある人の手助けなどをしてみたいと思いますか。

あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 1 してみたい【→問7-4へ】
- 2 したくない【→問8へ】
- 3 わからない【→問8へ】

＜＜問7-3で「1 してみたい」と回答した方にお聞きします。＞＞

問7-4 それは、どのような手助けですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1 席をゆずる          | 7 手話、点訳、音読、筆談など |
| 2 横断歩道や階段での手助け   | 8 一緒に遊ぶ         |
| 3 車いすを押す         | 9 相談相手、話し相手     |
| 4 災害時の声かけや避難の手伝い | 10 寄附等の金銭的な援助   |
| 5 家事や買い物などの手伝い   | 11 募金活動         |
| 6 入浴や着替えなどの手伝い   | 12 その他 ( )      |

### 3 障害者差別解消法について

問8 平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行されました。この法律では、国や地方公共団体、民間事業者に差別的取扱いを禁止し、差別を解消するための措置などを規定しています。あなたは、この法律について知っていましたか。

あてはまるもの1つ選んで○をつけてください。

- 1 法律の内容も含めて知っていた【→問9へ】
- 2 詳しい内容は知らないが、法律ができたことは聞いたことがあった【→問9へ】
- 3 知らなかった【→問10へ】

《問8で「1」または「2」と回答した方にお聞きします。》

問9 あなたは、「障害者差別解消法」を何で知りましたか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース
- 2 札幌市のホームページ
- 3 札幌市のパンフレット
- 4 札幌市の広報誌
- 5 家族や親せき、友人・知人
- 6 福祉サービス事業所の人や施設職員
- 7 障がい者団体や家族会（団体の機関紙など）
- 8 行政機関の相談窓口
- 9 インターネット
- 10 SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）
- 11 その他（ ）

問10 あなたは過去3年間に、障がいを理由とした差別を見たことがありますか。あてはあるものを1つ選んで○をつけてください。

- 1 ある【→問11へ】
- 2 ない【→問12へ】
- 3 わからない【→問12へ】

《問10で「1」と回答した方にお聞きします》

問11 それは、どのような内容でしたか。

あてはあるものをすべて選んで○をつけてください。

- 1 じろじろ見られる
- 2 いやなことを言われる
- 3 暴力をふるわれる
- 4 仲間はずれにされる
- 5 施設の利用や交通機関への乗車を拒否される
- 6 その他（ ）

#### 4 ボランティア活動について

問12 あなたは、障がいのある人に関わるボランティア活動をしたことがありますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 1 現在、ボランティア活動をしている
- 2 ボランティア活動をしていたが、現在はしていない
- 3 今までにボランティア活動をしたことがない

問13 あなたは、今後、障がいのある人と関わるボランティア活動をしたいと思  
いますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 1 したいと思う【→問14へ】
- 2 したいと思わない【→問15へ】
- 3 わからない【→問15へ】

《問13で「1」と回答した方にお聞きします》

問14 それは、どのような活動ですか。

あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

- 1 家事のお手伝い
- 2 買い物や諸手続きの代行
- 3 話し相手
- 4 スポーツ・レクリエーション活動を通じた交流
- 5 外出する時の付き添い
- 6 募金活動
- 7 外出時の送迎（移送ボランティアなど）
- 8 家や庭の手入れ
- 9 除雪
- 10 本や情報誌などの点訳や朗読
- 11 手話通訳、要約筆記（注1）
- 12 介助者が緊急で不在のときの支援
- 13 家族が外出したときの託児・見守り
- 14 その他（ ）

注1 聴覚障がいのある方に、話されている内容を要約し、ノートやパソコンなどを使っ  
て、文字として伝えることです。

《みなさまにお聞きします》

問15 あなたは、障がいのある人と関わるボランティア活動を活発にするために、  
どのようなことが必要だと思えますか。

あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

- 1 ボランティアの募集に関する情報提供や相談窓口の充実
- 2 学校等でボランティア学習・体験活動を行う
- 3 ボランティア休暇・休学制度など、活動しやすい条件の整備
- 4 ボランティア同士の交流の促進

5	ほけんかにゆう こうつうひ しきゅう 保険加入や交通費などの支給
6	えぬびーおー いくせい NPO、ボランティアグループなどの育成
7	しゅわ ようやくひつきとう せんもんできこうしゅう かいさいおよ じょうほうていきょう 手話、要約筆記等の専門的講習の開催及び情報提供
8	かつどうしゃ かんしゃじょう しゃかいてき ひょうか ボランティア活動者への感謝状など社会的な評価
9	その他
10	わからない

## 5 札幌市の施策について

<<みなさまにお聞きします。>>

問16～20 あなたは、下表にある施策等について、知っていましたか。

それぞれの、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

	施策等の名称	意味も含めて知っている	詳しい意味は知らなかったが、名前は聞いたことがあった	知らなかった
問16	ヘルプマーク（注1）	1	2	3
問17	ヘルプカード（注2）	1	2	3
問18	札幌市障がい者コミュニケーション条例（注3）	1	2	3
問19	札幌市手話言語条例（注4）	1	2	3
問20	心のバリアフリー（注5）	1	2	3

注1 外見からは障がいがあることが分からない方などが、周囲の方々に援助や配慮が必要なことを知らせることができるマークのことです。



※イメージ

注2 緊急連絡先や必要な支援内容などを書くことができ、日常場面で困ったとき、緊急時などに周りの援助や配慮をお願いしやすくなるカードのことです。

注3 障がいの特性に応じた手段によって情報を取得し、コミュニケーションをしやすい環境を整備し、障がいのある方もない方も相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現することを目的に制定した条例。

注4 手話が言語であることについて、市民の理解促進を図り、手話が言語であるとの認識を普及することを目的に制定した条例。

注5 障がいのある人などに対し、必要以上に「かわいそう」、「かばってあげなければならぬ」と思ったりする、意識の中にある差別や偏見等の「心のバリア（障壁）」をなくし、思いやりをもって手助けしようとする考え方や行動のこと。

問21 あなたは、「心のバリアフリー」を推進し、障がいのある人に対する理解を深めるためには、どのような取組が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

- 1 学校での子どもへの教育を充実する
- 2 地域での住民を対象とした学習会を充実する
- 3 イベントなどを通じた障がいのある方と市民との交流の機会を充実する
- 4 テレビ・新聞などのマスメディアと連携した広報活動を充実する
- 5 障がいのある方に対するボランティア活動の支援を充実する
- 6 市の広報誌などで、理解を深めるための啓発を推進する
- 7 障がい者団体の活動をPRする
- 8 障がいのある方による芸術活動を推進する
- 9 障がいのある人から話を聞く
- 10 駅や区民センター、図書館などでの周知活動（パネル点字など）
- 11 その他（ ）

問22 あなたは、地震等の災害があったとき、近所に住む障がいのある方の助けをしたいと思いますか。あてはあるものをひとつ選んで○を付けてください。

- 1 可能な範囲で手助けをしたい【→問23へ】
- 2 手助けをしたいと思わない【→問24へ】
- 3 わからない【→問24へ】

《問22で「1」を回答した方にお聞きします》

問23 あなたは、災害があったときに手助けできるよう、近所に住む障がいのある方のことを知っておきたいと思いませんか。あてはあるものをひとつ選んで○を付けてください。

- 1 知っておきたい
- 2 知っておきたいとは思わない
- 3 わからない

問24 あなたは、札幌市が、障がいのある人にとって地域で普通に暮らしやすい都市であると思いますか。

- 1 そう思う【→問26へ】
- 2 まあそう思う【→問26へ】
- 3 あまりそう思わない【→問25へ】
- 4 そう思わない【→問25へ】
- 5 どちらともいえない【→問26へ】
- 6 わからない【→問26へ】

＜＜問24で「3 あまりそう思わない」「4 そう思わない」と回答した方にお聞きします。＞＞

問25 そう思わない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 居宅介護（ホームヘルプサービス）などの在宅サービスが十分に提供されていない
- 2 障がいのある人が生活するに足る収入が確保されていない
- 3 障がいのある人に配慮した住宅、建物、交通機関などが不十分である
- 4 障がいのある人の就労が困難である
- 5 障がいのある人からの相談を受ける体制が整っていない
- 6 障がいのある人を地域全体で支える体制が整っていない
- 7 障がいのある人への差別や偏見が大きい
- 8 その他（ ）
- 9 わからない

＜＜みなさまにお聞きします。＞＞

問26 あなたは、3年前と比べて、福祉・教育・まちづくりなどの障がい者施策は進んだと思いますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1 かなり進んだと思う   | 4 ほとんど進んだと思わない |
| 2 少し進んだと思う    | 5 どちらともいえない    |
| 3 あまり進んだと思わない | 6 わからない        |

問27 障がいのある人に関する施策のうち、札幌市がもっと力を入れる必要があるとあなたが思うものは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 居宅介護（ホームヘルプサービス）などの在宅サービスの充実
- 2 生活の安定のための手当などの充実
- 3 障がいのある人に配慮した住宅、建物、交通機関などの整備
- 4 障がいのある子どもの教育の充実
- 5 障がいに応じた職業訓練の充実や雇用の促進
- 6 医療サービスやリハビリテーションの充実
- 7 障がいのある人やその家族への相談支援体制の充実
- 8 地域全体で障がいのある人を支えていく体制の整備
- 9 点字・手話、字幕放送、るびふりなどの情報提供の充実
- 10 障がいに対する理解の促進
- 11 その他（ ）
- 12 わからない

## 6 共生社会の在り方について

《みなさまにお聞きします。》

問28 札幌市は、障がいのある人もない人も、その命の尊厳が当然に保障され、市民誰もが互いに人格と個性を尊重し支え合う共生社会の実現を目指しています。あなたが考える「共生社会」とはどのような社会ですか。共生社会のイメージについて自由にご記入ください。

問29 あなたが考える「共生社会」の実現のためには、どのような施策が必要ですか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 障がいのある人が利用する障がい福祉サービスの充実
- 2 障がいのある人の就労機会の充実
- 3 障がいのある人のスポーツ活動の充実
- 4 障がいのある人の文化・芸術活動の充実
- 5 その他障がいのある人の社会参加の充実
- 6 建築物・交通機関等のバリアフリー化の推進
- 7 心のバリアフリー化（障がいなどに対する理解の促進）の推進
- 8 インクルーシブ教育※の充実
- 9 地域住民同士の助け合いが充実した社会の推進
- 10 障がいのある人とない人が一緒に楽しめるイベント等の充実
- 11 障がい福祉等に関する情報提供の充実
- 12 その他（ ）

※…人間の多様性の尊重等の強化、障がい者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障がいのある人と障がいのない人が共に学ぶ仕組み

問30 その他ご意見やご要望があればご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないかご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れて

令和元年●月●日（●）までに投函してください。